

フィンネットワーク通信

2017年1月号

あけましておめでとうございます！
フィンネットワークの赤木広紀です。



旧年中はお世話になりました。
2017年もどうぞ宜しくお願いします！！

昨年は新しいコーチングスクール『Art of Coaching』の立ち上げに明け暮れた一年でしたが、お陰様で無事に最初のコースもスタートすることができました。

弊社、フィンネットワークも昨年6月に10周年を迎えましたが、これまでの歩みを振り返り、これからコーチとして活躍していきたい方の指針となるものを制作するプロジェクトも始めました。

具体的な発表は少し先になりますが、AOCのトレーナーデビューの予定もあり、今年は何かと前に出たり、表現したりする機会が増えそうです。



また今年もビデオメッセージを作成しました。1分ほどの短い動画なのでぜひご覧ください。

<https://youtu.be/fOc8qXQ0qJ8>

本年もどうぞよろしくおねがいします！！

映画「この世界の片隅に」見ました！

昨年は『君の名は。』『シン・ゴジラ』など邦画の当たり年でした。そんな中、自分にとってベスト1となった映画が『この世界の片隅に』です。(ちなみに『君の名は。』も見ました。映像もキレイで、小説版も読みましたが、これもとっても良い映画でした。)



ジャンル分けすると、戦争映画になるかもしれませんが、普通の女性を主人公に戦時中の生活を丁寧に描いたアニメーション映画です。

個人的にこれまで、戦争に関する映画は好きではありませんでした。軍人を英雄視するような映画も、逆に戦争の悲惨さを強調するような映画も、どちらも敬遠していました。

そんな自分ですが、この映画は見るべきだと直感的に思ったんですね。で、その直感は当たっていたわけで

すが、何が良かったのが取って言葉にすると「押し付けがましくなかったところ」でしょうか。

戦争映画に限らず、善悪、敵味方がハッキリしている映画が多いですが、そんな価値観を越えたところにある、起きている出来事を淡々と描くことの力強さに圧倒されたと言ってもいいかもしれません。

もちろんアニメーションであり、作り物なのですが、何かドキュメンタリーかノンフィクションを見ているような不思議な感覚になりました。

どんな時代であろうと、日々の生活を営むことの尊さを教えてくれた『この世界の片隅に』。上映館も増えるので機会があればぜひ映画館へ足を運んでください。

わたしも続いています

何が続いているかという、裏のामीゴの記事と同じで、サイトに掲載しているプロコーチコラムです。

一昨年末に受講した文章講座をきっかけに、2016年は週に1回、記事を書こうと決意しました。すらすら書けるときもあれば、ぎりぎりまで言葉が出てこないときもありましたが、おかげさまで毎週金曜日に記事を投稿するという目標を達成できました。

苦手だと思っていたことにチャレンジして、それをやり続けて実現できたという体験は、いくつになっても嬉しいものですね。

この「目標」というものについて、世の中には色々な考えがあります。多くの自己啓発書には、目標設定は必須項目のように書かれていますが、目標を立てずに流れに任せようという主旨の本もあります。

どちらの考え方にも思いつきハマった私としては、今でこそ、目標を立てることと立てないことのメリット・デメリットのどちらも理解できますが、以前は「一度目標を立てたら何が何でも守らなくてはならない」とガチガチに考えていました。

そんなとき、先輩経営者から「目標というのは、道具なんだよ。その道具が役に立つ場面なら使えばいいし、そうでなければ使わなければいい」と教えて頂き、肩の力がフッと抜けたのです。

まだまだ目標という道具を自由自在に使いこなせるまでには至っていませんが、少しずつでも熟達していきたいと思う今日このごろです。

次はामीゴのコーナーです！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

本年も宜しくお願いします。

去年は、弊社設立 10 周年イヤーでした。今年も個人的に、区切りの年になります。

なんと！結婚 15 周年イヤーなのです！いやぁ早いものですね～。

結婚にまつわる世間の状況も、この 15 年で様変わりしましたね。思い出話を交えながら、ちょっと語ってみます。

私の友人たちの大半は、90 年代にお嫁にいきました。当時の結婚式は、今でいうところの「派手婚」が主流。



お色直しは 3 回が普通で、花嫁がお着替えのため、ほとんど席にいないのがザラでした。ケーキカット、キャンドルサービスと定番のメニューが続きます。バブルが終わった頃の挙式ラッシュなので、ゴンドラを見たことが無いのは残念でしたが。

新婦友人のカラオケを頼まれることも多かったのですが、どのタイミングで食べ終わり、化粧直しに席を立つべきか見計らっていましたね。

さんざん出席したせいもあって、もう自分まで挙式した気分になっちゃったのでしょうか。結婚願望はあっても、結婚式どうのの関心は薄くなりました。

私と夫の意見が見事に一致し、挙式はできるだけ簡素化することにしました。

写真だけの挙式、家族だけ参列の挙式、いわゆる地味婚も、今でこそ珍しくありません。挙式もせず、役所に届けただけという友人もいます。

しかし 2002 年当時は、地味婚はまだ少数派でした。親に泣かれて派手婚を挙げた友人もいましたが、私たちの両家は特に反対もなかったため、断行できたのです。



ただ、当時は家族だけで挙式できる式場も少なかったですね。しかも、式場めぐりをするパワーのない二人だったので、見学 1 件目であっさり決めてしまいました。

また結納も婚約指輪も無しにしました。当時はまだ珍しい部類だったのですが、今や普通のような感じです。

わが 10 歳の娘が適齢期の頃は、どんな挙式事情になっているのでしょうか。



というより、適齢期という言葉も死語かもしれません。今よりもさらに挙式もカジュアルになっているかな。

同性や別居婚、事実婚も、もっと市民権を得ているのでしょうか。このまま多様性が進めば、結婚のスタイルもバラエティ豊かになるでしょうね。

新春らしく、未来にも思いを馳せてみました。

続いています



2015 年にリニューアルスタートした、私のブログアミーゴトですが。

2016 年度はおかげさまで、週に 1 度の更新をほぼ続けることができました！

ブログ自体は 10 年以上続けていますが、書きたくなったら書く、気まぐれな時期が長く続きました。

毎日更新し始めたかと思えば、数ヶ月放置したり。いくらでも書きたいことがあるときと、全く書きたいことが浮かばないときと、極端に分かれていました。

そんな私が 2016 年当初、突然ですが、「今年は週に一度は更新しよう！」と決めたのです。

曜日は決まってないものの、毎週更新は達成できました。

とはいえ、週に一度はまたたく間にめぐってきて、体感的には毎日書いている感じです。

週イチでもヒーヒー言う私からすると、毎日、ブログを更新している人は心から尊敬しています！

今年も、週に一度の更新を目指していきます。

それだけでなく、「書く」というのをテーマに、ブログを書いていきたいなぁとも思っています。新ブログにするのか、今のアミーゴトに新しいカテゴリを作るのかは思案中ですが。

10 年以上取り組んできた「書く」という行為そのものを、より深めていければと思います。これが 2017 年の抱負でしょうか。



ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

